



令和6年度 桜学園つくば市立栗原小学校グランドデザイン

本県教育の目標

- ひとりひとりの能力を開発し
- 豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり
- たくましい心を養う
- 郷土を愛し
- 協力しあう心を育てる

桜学園目標

夢を持ち、自立して社会に貢献できる児童生徒の育成

つくば市の目指す学園・学校像

みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園
～自己実現できる学校・みんなで支え合い、
みんなが生き生きした学校～

【桜学園小中一貫教育の推進】つくば市教育委員会研究指定 桜学園研究発表会(令和6年11月予定)
◎実践研究部会(桜中・栄小) ◎保健安全部会(栗原小) ◎自分づくり部会(九重小)

【桜学園研究主題】

「自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成」～主体的に学ぶための課題設定と単元構成の工夫を通して～

学校教育目標

夢に向かって挑戦し、主体的・自律的に学ぶ栗原っ子の育成
～児童が主体的に取り組む教育活動の工夫・改善を通して～

学校経営方針

心身ともにたくましく、一人一人が幸せを実感できる学校
学校経営の3本柱「命・あいさつ・学び(授業)」

【学校としての組織目標】

- ・「教えから学びへ」
児童が主体的に学べる学習活動の工夫を通し、学力の向上を図る。
- ・「管理から自己決定へ」
考えを表現し、自己決定する場を増やすことで自己有用感・自己肯定感を高める。

目指す学校像

- ・笑顔あふれる学校
- ・誰からも信頼される学校
- ・安全で安心して過ごせる学校
- ・地域とともにある学校

目指す児童像

- ・(かしこい子) よく考え、進んで学ぶ子
- ・(やさしい子) 礼儀正しく、思いやりのある子
- ・(たくましい子) 心身ともに健康で、粘り強くやりぬく子

目指す教師像

- ・明るく、元気な笑顔で向き合える教師
- ・子どものよさを生かし、伸ばせる教師
- ・体験、知識が豊富な教師
- ・新たなことに挑戦し、資質や指導力の向上に努める教師

非認知能力の醸成

《知育プラン》 ◇◇かしこい子の育成◇◇	《徳育プラン》 ◇◇やさしい子の育成◇◇	《体育プラン》 ◇◇たくましい子の育成◇◇
【施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもった単元計画による学習の展開 ・児童の主体的な学びを促す課題設定の工夫 ・自ら意欲的に学ぶ学習形態の工夫 ・自分の学習を探究するための自主学習 ・ICT 機器を活用した学習活動の工夫 ・読書活動の推進 【数値目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・県学力診断テスト 県比+2 ・みんなにすすめたい1冊の本推進事業 50冊 90% 	【施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の学びを実践する体験活動の充実 ・自主的な活動を促す会社活動やルールメイキングの実践 ・一人一人の個性を大切に特別支援教育の充実 ・学校生活アンケート、教育相談の実施 【数値目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい 90% ・自分を生かす場がある 80%  	【施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・体育授業の創意工夫と外遊びの奨励 ・動画教材や GIGA 端末などのモデル学習 ・けが防止のための学習教室の実施 ・体力向上プロジェクトの実施 ・生活リズムの徹底 ・交通安全教室、防災訓練等の実施 【数値目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト A+B 50% ・早寝早起き朝ごはん 95% 
《家庭・地域・学園との連携》 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報収集、情報発信 ・地域の人的・物的資源の活用 ・学校評価の充実・活用 家庭 健やかな心身を育む場 あいさつ、手伝い、家庭学習の習慣化 地域 地域の子どもの育てる場 子供会、地域行事、地域の安全 学園 小小・小中間の連携・協力 保幼との連携・接続推進 	《安全・安心な学校づくり》 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの周知と共通理解 ・安全点検の計画的実施と速やかな修繕 ・校舎内外巡視、児童看護の徹底 ・交通安全: 歩行、横断、ヘルメット ・生活安全: 安全な過ごし方の指導 ・災害安全: 防災訓練、危機管理能力の育成 ・登下校時の見守りの協力依頼 ・学園防災連絡会議、引き渡し訓練の実施 	《教職員の資質能力向上》 <ul style="list-style-type: none"> ・研究主題に沿った授業研究を通じた授業改善・授業力向上 ・児童の自己肯定感を高める学級経営 ・研修や各種研究会等への積極的参加による力量形成 ・コンプライアンス遵守(教育公務員としての自覚) ・働き方改革の推進 ・ラインによる教職員のメンタルヘルスケア(目標: 在校等時間月 45 時間以内)

